

千葉港北部 津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)
 隆起量: 平均 -7cm(-8cm ~ -6cm)
 Zo: 1.20m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: オルカトル図法
 測地系: 世界測地系 (WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

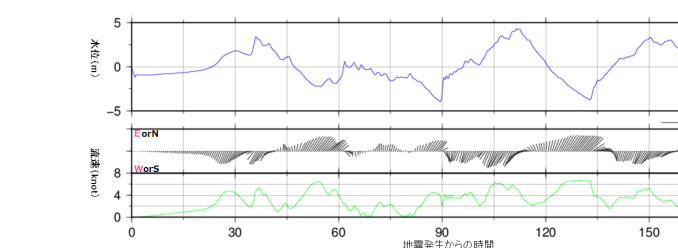
0.5~最大1.7m

0.5未満

○ 経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

(R) 水位、流向・流速経時変化図



進入時最大流 [knot]

→ 3 knot

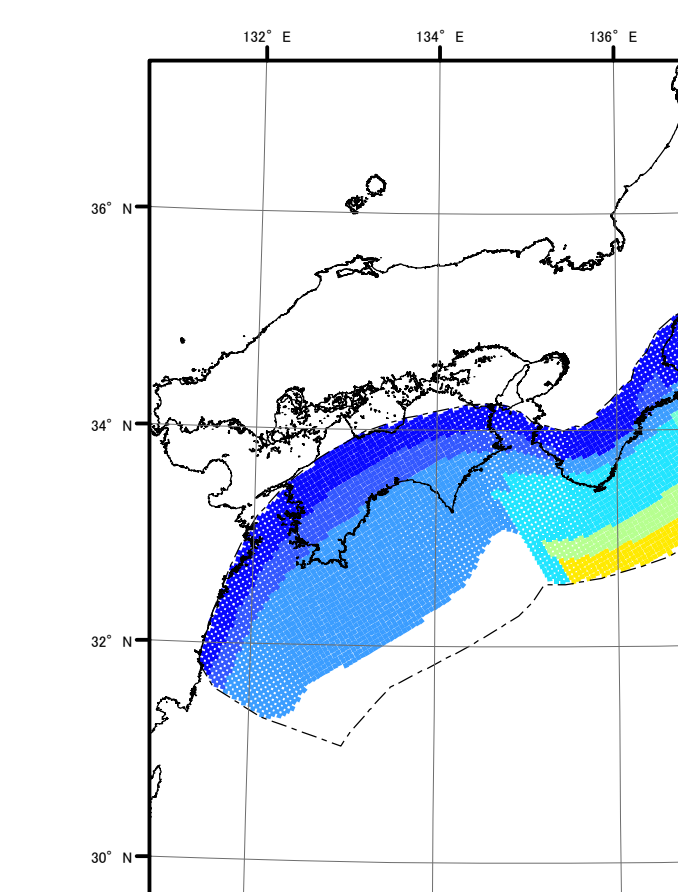
→ 2 knot

→ 1 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース②「紀伊半島沖に『大すべり域+超すべり域』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.3 X 10 ²¹
平均すべり量 D (m)	10.7
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告) (平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。選定した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

